

## 事前の評価個表

整理番号	1
------	---

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	長崎県
地区名	白石(しらいし)	計画期間	令和5年度～令和14年度(10年間)
市町村名	平戸市(ひらどし)	実施主体	長崎県
事業の概要・目的	<p>本地区は、長崎県の生月島<sup>いきつき</sup>への唯一のアクセス路である生月大橋の平戸島側の入口に位置している。北側は海、陸側の三方向は崖で囲まれた谷底地形であり、緩斜面地は宅地や農地、斜面前面の入江は漁港として利用され、白石集落を形成している。また、中央には上部岩盤が変位移動したと想定される分離小丘があり、過去に大規模地すべりが生じた地形を呈している。</p> <p>本地区の地層は平戸層と呼ばれる第三紀層が分布し、また凝灰角礫岩・礫岩・凝灰岩といった火山性の岩石が急崖を形成している。令和2年7月の豪雨により、本地区南部で山腹斜面の崩壊が発生し、また、集落周辺の道路や人家の擁壁等において、押し出しによる亀裂や変状が生じていることが確認されており、本地区内全域において地すべり現象が活発なものと想定される。</p> <p>地すべりブロックが滑動した場合、ブロック内の県道を巻き込んで下方の人家、農地、漁港施設まで土砂が流出し、多大な被害を与えるおそれがある。</p> <p>このことから、地すべりを防止するため、早急に地すべり防止区域に指定の上、地すべり防止事業に着手し、国土の保全及び国民の生命・財産の保全を図る必要がある。</p> <p>主な事業内容：集水井工7基、杭工1,800m 総事業費：2,189,190千円(税抜き 1,990,173千円)</p>		
費用対効果分析	総便益(B) 3,209,998千円		
	総費用(C) 1,570,537千円		
	分析結果(B/C) 2.04		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：地すべり活動の活発化による被害のおそれがあることから、人家や道路等を保全するために地すべり対策を実施するものであり、国土の保全と民生の安定に資するため、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：地すべり対策工の計画に当たっては、調査結果等に基づき現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法を検討するとともに、事業実施に当たっても、コスト縮減を検討し総事業費の軽減を図る方針としていることから、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性：地すべりの防止により、人家等の保全が図られ、民生の安全・安心の確保が見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査事項(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、適切な計画内容であることから、事業採択することが妥当と認められる。</p>		

様式1

便 益 集 計 表  
(治山事業)

事業名：地すべり防止事業  
施行箇所：白石(しらいし)

都道府県名：長崎県  
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
災害防止便益	山地災害防止便益	3,139,212	
	人命保護便益	70,786	
総 便 益 (B)		3,209,998	
総 費 用 (C)		1,570,537	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,209,998}{1,570,537} = 2.04$		

# 評価箇所概要図

整理番号 1

長崎県

事業名 民有林補助治山事業(地すべり防止) 地区名 白石(しらいし)

